



ほけんだより



七重浜こども園 R.5. 1. 12

新しい1年がスタートしました。今年はどうな1年になるのでしょうか？
2019年末に発生してから瞬く間に世界中に広がり、現在もなお猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症。そんな中、インフルエンザが3年ぶりに広がっています。インフルエンザの知識をもう一度確認しましょう。

正しく知るインフルエンザ

インフルエンザ

突然の38℃以上の高熱、関節痛、筋肉痛が特徴です。喉の痛み、咳、鼻水なども出現します。症状出現後、12～24時間以降に抗原検査を行うと診断をつけることができます。抗インフルエンザ薬（タミフル等）を速やかに内服することで、解熱までの時間を約20時間早めることができます。



症状がでたらどうする？

これからは風邪の症状があれば、新型コロナとインフル両方の可能性を考えなければなりません。現在行われている検査には抗原検査とPCR検査があり、新型コロナはPCR検査が主流、インフルはほとんど抗原検査となっています。症状があればかかりつけ医と相談をし、病院受診をおすすめします。



インフルエンザの出席停止期間(幼稚園児・保育園児)

	発症日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
発熱 1日間									
発熱 2日間									
発熱 3日間									
発熱 4日間									
発熱 5日間									



発熱あり
(出席停止)



発熱なし
(出席停止)



通園可能

インフルエンザに発症した日を0日目として5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過した翌日に、健康が回復していれば通園可能となります。
※発熱と解熱がともにあった日は「発熱あり」とする。再発熱した場合は最後に解熱してから4日後に通園可能。

©Doctors Me

※引き続き、マスクの着用、手洗い・うがいの実施、アルコール消毒の実施、密を避ける、換気を徹底しましょう。新型コロナは、無症状の人からの感染が多い病気です。「うつらない」だけでなく「うつさない」という心がけが大切です。



12月感染症状況
ヒトメタニューモウィルス 2名
アデノウィルス 2名
胃腸炎 10名